



【写真】左から障がいを持つ当事者の菅谷さん、黒川さん、メッセンジャーの三宅さん。



「わたしの色」は人それぞれ  
イロ、色いろ。

個性は違って当たり前。  
障がいのある人にとっては、ちょっとした手助けがあることで社会で暮らしやすくなり、たくさんの人が活躍できるようになります。  
誰もが暮らしやすい共生社会。  
障がいの理解から始める「あいサポート運動」を特集します。



あいサポート運動



障がいの特性や困っていること、必要な配慮を理解し、ちょっとした手助けを実践することで、障がいのある人が暮らしやすい社会をみんなで作っていく運動。  
研修や講習会を通じてあいサポーターと呼ばれる理解者を増やしています。



【写真】左からメッセンジャーの大槻さん、榎本さん、障がいを持つ当事者の西澤さん、中林さん、メッセンジャーの鈴木さん。  
※メッセンジャー…あいサポート運動を広めていく役割を担う人

あいサポート運動の特徴は「まず知ることから始める」と。様々な障がいの特性や困っていること、それぞれに必要な配慮を理解することにより、普段の生活でちょっとした手助けを行えるようになります。正しく理解することが、一緒に暮らすことへの第一歩。その一歩を踏み出してみませんか。

あいサポート

共生社会は「私（アイ）」が作っていくもの。困っている人を見かけたとき、「誰かが助けてくれるだろう」と思ってしまうこともあります。その「誰か」に「私」がなる勇氣。みんなが主体で、多様性を認め、分け隔てのない社会。共生社会は、「私」たちの手で作られます。

アイサポート

社会のすべての場面にみんなが参加できるようにあります。「ちょっとした手助け」が愛となり、共生社会を作っていくことができます。

愛サポート

あなたの色は何色でしょう。人は皆、個性を持っています。勉強が好き、運動が好き、食べることが好き、読書が好き。好きなことも人それぞれ。そして、苦手なことも人それぞれ。それら全てが合わさって、「私」という色を作っています。それは、他の誰とも違わず、あなただけの色。人と違って当たり前。違う色を持った色々な人たちが共に暮らす社会は、誰もが暮らしやすいものでなくてはなりません。  
その誰もが暮らしやすい社会「共生社会」を作る運動が「あいサポート運動」。鳥取県で生まれたこの運動に賛同し、平成26年に結んだ協定をきっかけに、三芳町でもあいサポート運動を進めています。